

昭和十六年十二月二十五日 印刷 納本
昭和十七年一月一日(毎月一回一日發行)

禁轉載

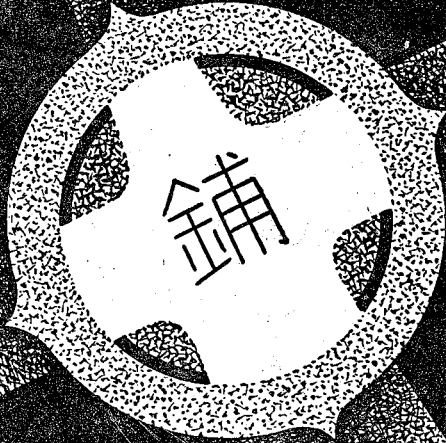
道路の改良

第二十四卷
第一號

社団法人
道路改良會

W
22

鋪裝報國



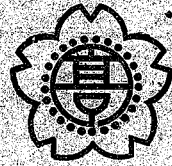
東京・丸ノ内

日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

土木建築
道路鋪裝
工事請負



株式會社 高野組

本社

東京市京橋區越前堀二ノ一

電話京橋(56) 一、九二三番・七、八二五番
七、三三〇番・八、〇七二番

倉庫 東京市品川區東品川三ノ三

電話高輪(44) 五三四〇番

大阪出張所 大阪市北區梅ヶ枝町一五七(梅ヶ枝ビル)

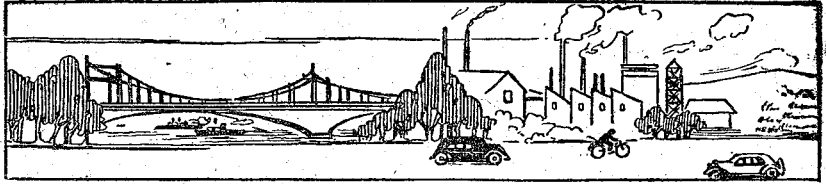
電話北(36) 一、九五六番・一、九八八番

福岡出張所 福岡縣糟屋郡和白村奈多

電話和白 二一八番

上海出張所 上海市老靶子路二六九號

電話(02) 四三、三二三番・三、九五〇番



道路の改良 第二十四卷第一號 目次 昭和十七年一月一日發行

【口繪】 十八號線濱田國道改良工事起工式

卷頭言

詔書

帝國政府聲明

論說

新年之感……………道路改良會々長 水野鍊太郎(八)

迎年の辭……………内務省國土局長 新居善太郎(一〇)
道路改良會常務理事

研究

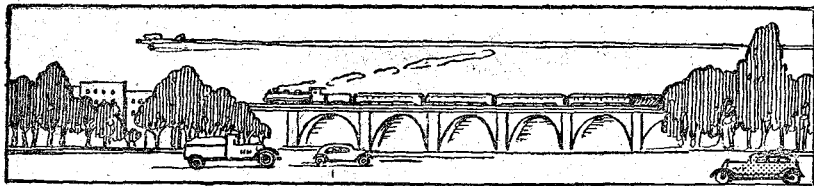
獨逸植民地に於ける道路の建設……………多田基(三)

說苑

歴代内務土木局長と其時代 廣瀨久忠氏……………清水生(一六)

御陵參道改良工事竣る……………奈良縣廳土木課 齋藤徳之助(三)

蔣の輸血路滇洹公路の様々……………淡路生(一七)



鳥取縣と土木行政(二).....鳥取縣廳土木課 前 田 豐(四)

靜岡縣に於ける道路愛護(二).....靜岡縣廳土木部道路課 海野彌之助(四)

群馬縣道路愛護日實施に關する概要.....群馬縣土木課(充)

十八號線濱田國道改良工事に就て.....鳥根縣廳土木課 柳 樂 義 雄(七)

時 局 日 誌(五十一).....Y H 生(五)

内務省特報

宮内省告示◎内務省告示◎首相兼内相訓示の要示◎大詔を拜しての東條首相の談

◎言論等取締法實施に付東條内相談.....(一五)

法 令

通 牒 軌道法施行ニ關スル覺書(大正十二年十一月二十九日)中一部變更ノ件.....(一〇)

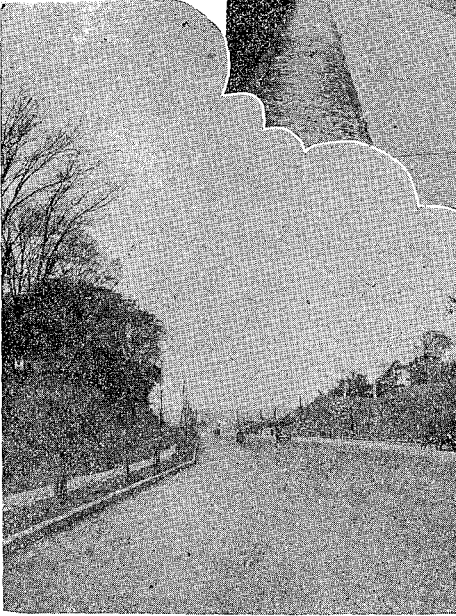
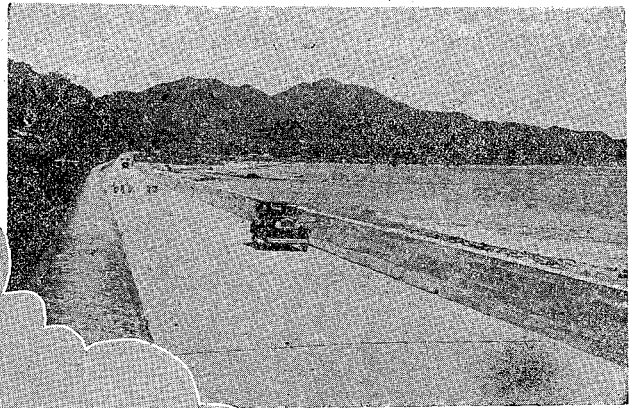
最近内務省に於ける路政關係行政處分例.....M K 生(一〇)

雜 報

本會役員◎内務省土木試驗所談話會◎第八回全國都市問題會議總會議題◎和田幹事
嚴父逝去◎近刊圖書雜誌.....(一六)

叙 任 辭 令.....(三三)

編輯室の内外.....(三四)



淺野ポルトランドセメント
一般工事用

淺野高爐セメント

下水工事ニ

好適

淺野ベロセメント

短期高强度
工事期間短縮
工事費節約

淺野セメント株式會社

東京市丸ノ内海上ビル

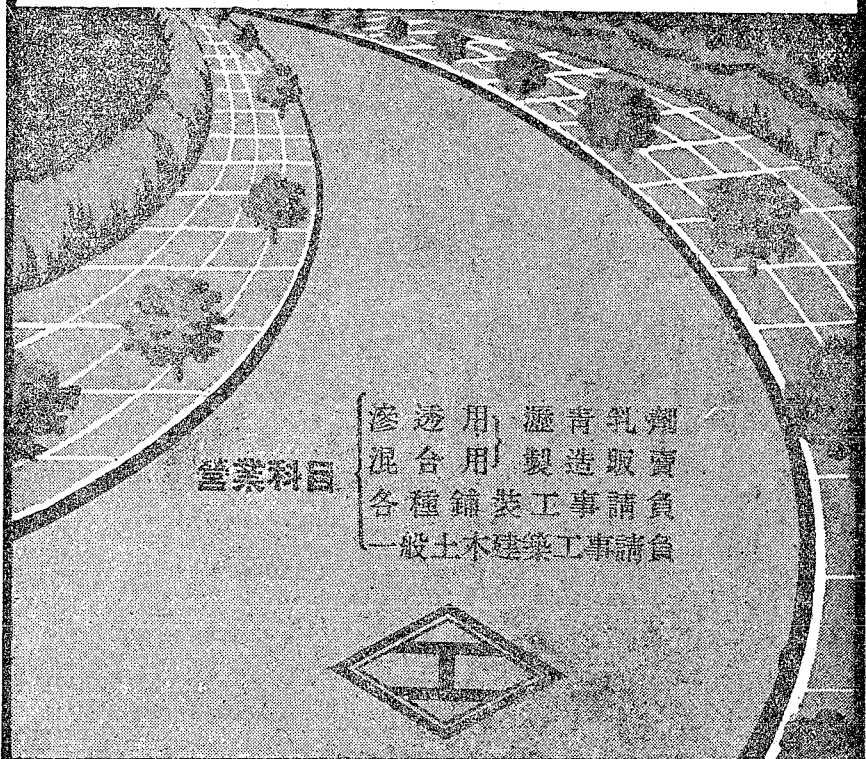
十八號線濱田國道改良工事起工式



本誌說苑欄參照

裝 鋪 路 道

(カ タ ロ ヲ 贈 呈)



營業科目

瀝青乳劑製造販賣
 用製鋪裝工事請負
 混合用各種鋪裝工事請負
 一般土木建築工事請負

東邦工業合資會社

本社 { 東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三
 { 電話 青山(36)四九七三・八一四八

工場 { 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二
 { 福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二

營業所 { 名古屋市・京都市・大阪市
 { 岡山市・廣島市・小倉市・熊本市

謹賀新年

昭和十七年一月一日

道路改良會

(理事いろは順)

會長 水野 鍊太郎

副會長 湯澤 三千男

同 中川 吉造

同 山田 英太郎

常務理事 新居 善太郎

同 佐上 信一

理事 橋本 圭三郎

同 挾間 茂

同 金子 源一郎

同 寛正 太郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

佐藤利恭 青山士 赤松小寅 藤井真透 牧彦七 山崎巖 岡田文秀 長岡隆一郎 長崎惣之助 中川正左 田中好 辰馬鎌藏 谷口三郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 幹事 監事 同

平井良成 小島效 弘津恭輔 近藤欣一 武若時一郎 岩澤忠恭 井關正雄 川上和吉 田中省吾 和田重辰 西野元 廣瀬久忠

大東亞共榮圈の建設は科學技術の振興にあり——と云ふ事は既に國家の大きなスローガンとなつて居るのであります。而して土木日本の現在は人手と物資を超百パーセントに活用すべく餘儀なくされて居るのであります。

然るに吾國の土木工學圖書は徒らに理論の廣汎に互るもの多く實際問題としての設計計算資料となるべく明快適確に解説した書籍が殆ど皆無であつたのであります。

茲に於て小社は新進氣鋭の土木技術家各位より絶大な共鳴と協力を得て新制實用土木叢書「土木設計計算例集」を刊行し初級中級土木技術者諸君の要望に應へんとするものであります。

本書の計算設計は總て土木學會の新標準示方書に準據して記述せられたるもので讀んで直ちに設計計算の資料となり、勞力と時間を節減出來、而かも誰れにもわかる好參考資料とすべく記述編纂された事が本書の他に類例のない特徴であり責任を以つて御推薦する次第であります。

土木設計計算例集

各冊自由分賣 定價各冊 1.80 円内地16 外地26B.5判(クロス、上製)100 頁

第一輯 無鈹コンクリート拱橋の 近似計算法

愛知縣土木技師 田島治身著

設計計算の簡易化を目的とし、簡明に表化して、實際家が應用し易く解り易く著したものである。

計算圖表による (近日發刊)

第二輯 鐵筋コンクリート設計計算例

哈爾濱工業大學教授 高見太一著

水力發電所工事設計施工例 A5.判200頁 クロス箱入
¥ 3.20 円内地26 外地46

設計圖 36 例・泰阜發電所 田中一著
寫真30數葉挿入

土木雜誌 科學の振興と技術の公開をモットーとして、數社合同新しく生れた國策雜誌なれ共、十七年の歴史と最新の内容及權威を有する土木専門の工學雜誌なり。 1ヶ年 6.00 半ヶ年 3.00 送料共 (但前金に限る)

發行所

東京市麹町區丸ノ内三ノ六
電話丸ノ内(23) 2633番

土木雜誌社

振替 東京 61,244番
口座 東京 30,150番
東京 151,195番

昭和十七年

道路の改良

一月一日

第二十四卷

第一號

言 頭 卷

新らしき年を迎へて富士の嶺の高きすがたを仰ぎ見るかな 明治聖皇の御製を拜するだに畏し。萬象悉く生々として見え、心地甚だ愉快を感じる。

昭和十六年十二月八日日本帝國が亞米利加及英吉利に對して宣戰布告を行ひ 大詔を渙發せられたることは實に帝國が世界新秩序の建設、東亞共榮圈の確立の一環として東亞圈内の資源を確保し、國內存立の基礎を固めんとする要求に基き、これが遂行を妨害せんとする敵性軍事基地を撃攘せんとするもので全世界諸國が頗る難しとみていた大掛な事業に萬難を排して着手した。帝國の勇氣と決意とは實に驚嘆に値するものである。海に陸に空に鐵石の如き精神と練磨されたる手腕とは或は米艦隊を或は英主力艦隊を殲滅し空海陸を通して壓倒的戰果を收めつゝあるの秋吾曹は茲に新年を迎へたのである。富士山の屹然として實際に饗ゆるを見るが如く腦裡何んとなく寛裕に一入氣高く雄々しく感ずる。

敵性國米英の挑戰を受け、祖國日本の生存と權威とを危きに至らしめ東亞新秩序の建設を妨害せんとする意圖の明瞭となるに及び驟然起たざるを得ないので我海陸軍は征戰の事に従ふたのである。而して空前の戰勝を見た。吾人銃後の國民は唯其の戰勝を祝し、讀へ、賞するのみに日を過して可なるべきであらうか。

獨逸、伊太利と對米英戰を共同遂行し以て世界新秩序の建設、新世界の創造に協力せんことを約し實に東亞新秩序の建設のみでなく、茲に世界新秩序の建設、新世界の創造にまで發展し支那事變を含めて大東亞戰爭と呼稱するに至つた。而かも太平洋は我帝國の獨力戰場である。世界の新秩序、新世界の創造は容易に之が實現を見得べくもないのであるから、設令わが軍の有史以來の重大且つ巧妙なる作戰に依りて一大勝利を得て廣大なる地域は東亞共榮圈の有力なる一環を爲すであらうとはいへ、敵性國がありとあらゆる方策を講じて執拗に抗戰をつゞけ過重なる困苦は次から次へと襲來するであらうことは想像に難くないのである。

東洋を愛し、東洋を護り、東洋と共に生くる日本帝國、世界を愛し、世界を護り、世界と共に生くる我等國民は眞に一心一體一糸亂れず盡忠國難に殉ずるの覺悟を持し全力を盡して奮勵邁進するの外はない。斯る秋に當りても尙私利我慾を獲得せんとするものあるに於ては斷じて之を排撃すべきである。斯る不慮不徳不義の徒以て慙死すべきであらう。

吾曹念ふ我等國民は必勝を期して自我を捨て勇往邁進し、聖旨を奉體して大君の御楯となるの日は今日今時であると。(洩民)

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ眾庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑々東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト覺端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ

兄弟尙未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ脅威ヲ増大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衛ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御 名 御 璽

昭和十六年十二月八日

各 大 臣 副 署

帝國政府聲明

恭しく宣戰の大詔を奉戴し茲に中外に宣明す抑々東亞の安定を確保し世界平和に貢獻するは帝國不動の國是にして列國との友誼を敦くし此の國是の完遂を圖るは帝國が以て國交の要義と爲す所なり。

然るに曩に中華民國は我眞意を解せず徒らに外力を恃んで帝國に挑戦し來り支那事變の發生を見るに至りたるが御稜威の下皇軍の向ふ所敵なく既に支那は重要地點悉く我手に歸し同憂具眼の士國民政府を更新して帝國は之と善隣の誼を結び友好列國の國民政府を承認するもの已に十一箇國の多きに及び今や重慶政權は奧地に殘存して無益の抗戰を續くるに過ぎず然れども英米兩國は東亞を永久に隸屬的地位に置かんとする頑迷なる態度を改むるを欲せず百方支那事變の收結を妨碍し更に蘭印を使噓し佛印を脅威し帝國と泰國との親交を裂かむがため策動至らざるなし仍ち帝國と之等南方諸邦との間に共榮の關係を増進せむとする自然的要求を阻害するに寧日なしその狀恰も帝國を敵視し帝國に對する計畫的攻撃を實施しつつあるものの如く遂に無道にも經濟斷交の舉に出づるに至れり凡そ交戰關係に在らざる國家間における經濟斷交は武力に依る挑戦に比すべき敵對行爲にしてそれ自體過し得ざる所とす然も兩國は更に與國を誘引して帝國の四邊に武力を增強し帝國の存立に重大なる脅威を加ふるに至れり。

帝國政府は太平洋の平和を維持し、以て全人類に戰禍の波及するを防止せんことを顧念し、叙上の如く帝國の存立と東亞の安定とに對する脅威の激甚なるものあるに拘らず、隱忍自重八箇月の久しきに亙り、米國との間に外交々渉を重ね、米國とその背後に在る英國並びに此等兩國に附和する諸邦の反省を求め、帝國の生存と權威との許す限り、互讓の精神を以て事態の平和的解決に努め、盡す可きを盡し爲す可きを爲したり、然るに米國は、徒らに架空の原則を弄して東亞の明々白々たる現實を認めず、その物的勢力を恃みて帝國の眞の國力を悟らず、與國とともに露はに武力の脅威を増大しもつて帝國を屈從し得べしとなす、かくて平和的手段により、米國ならびにその與國に對する關係を調整し、相携へて太平洋の平和を維持せむとする希望と方途とは全く失はれ、東亞の安定と帝國の存立とは方に危殆に瀕せり、事茲に至る、遂に米國及び英國に對し宣戰の大詔は、渙發せられたり、聖旨を奉體して洵に恐懼感激に堪へず、我等臣民一億鐵石の團結を以て蹶起勇躍し、國家の總力を擧げて征戰の事に従ひ、以て東亞の禍根を永久に芟除し、聖旨に應へ奉るべきの秋なり、

惟ふに世界萬邦をして各々その處を得しむるの大詔は、炳として日星の如し、帝國が日滿華三國の提携に依り、共榮の實を擧げ、進んで東亞興隆の基礎を築かむとするの方針は、固より渝る所なく、又帝國と志向を同じうする獨伊兩國と盟約して、世界平和の基調を劃し、新秩序の建設に邁進するの決意は、益々牢固たるものあり、而して今次帝國が南方諸地域に對し、新に行動を起すの已むを得ざるに至る、何等その住民に對し敵意を有するものにあらず、只米英の暴政を排除して東亞を明朗本然の姿に復

し相携へて共榮の樂を頌たんと冀念するに外ならず帝國は之等住民が我が眞意を諒解し帝國と共に東亞の新天地に新なる發足を期すべきを信じて疑はざるものなり今や皇國の隆替東亞の興廢は此の一舉に懸れり全國民は今次征戰の淵源と使命とに深く思を致し苟も驕ることなく又怠る事なく克く竭し克く耐へ以て我等祖先の遺風を顯彰し難關に逢ふや必ず國家興隆の基を啓きし我等祖先の赫々たる史績を仰ぎ雄渾深遠なる皇謨の翼賛に萬遺憾なきを誓ひ進んで征戰の目的を完遂し以て聖慮を永遠に安んじ奉らむことを期せざるべからず。

